

令和4年度青森商工会議所 経営発達支援計画事業評価書

国の認定を受けた「経営発達支援計画」の各事業について事業評価委員会を開催し客観的な評価をいただいた。いただいた評価をもとに今後の各事業の見直しを行う。

記

1. 事業評価委員会の開催日程

令和5年5月22日（月） 11:00～12:00

2. 評価委員

青森市経済部新ビジネス支援課 課長

横内 英雄 氏

株式会社若山経営 代表取締役

若山 恵佐雄 氏

中村社会保険労務士中小企業診断士事務所 代表

中村 貴志 氏

青森商工会議所 専務理事

葛西 崇 氏

3. 評価基準

A⇒目標を達成することができた。

B⇒目標を概ね達成することができた。

C⇒目標を半分程度しか達成することができなかった。

D⇒目標をほとんど達成することができなかった。

目標に対しては、達成度合いでの評価とする。

※評価内容の記載してある下記表上段は、A・B・C・Dの内容に基づくもの。下段は、評価者4名の内、該当する評価を何人行ったかの人数を記載している。

A	B	C	D

令和5年6月

1. 地域の経済動向調査に関すること

- ①経営課題アンケート調査
- ②中小企業景況調査
- ③LOBO（早期景気観測）調査
- ④地域診断サービスによる調査

（令和4年度）

A	B	C	D
4			

（参考 令和3年度）

A	B	C	D
2	2		

【評価内容】

【委員1】各項目の調査は、それぞれ計画どおり実施公表している。新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日から「5類」に移行するなど、経済活動については、次第にコロナ禍以前の状況へと回復にむかっていくものと思われることから、今回の調査結果を今後実施する各施策に活用していただきたい。

【委員2】計画通り実施している

【委員3】①～④ともに目標を確実に達成していて評価出来る。特に①については、非常に重要なアンケート調査とのことであるため、調査結果に基づいた効果的な施策の企画を期待したい。

【委員4】調査結果を事業者等関係者にフィードバックし、参考にしていただくとともに、会議所の経営指導に活用されている。

2. 需要動向調査に関すること

- ①自社店舗等での需要動向調査アンケート
- ②首都圏ビジネス交流拠点施設等での消費者ニーズアンケート調査

（令和4年度）

A	B	C	D
3	1		

（参考 令和3年度）

A	B	C	D
3	1		

【評価内容】

【委員1】調査結果や分析結果が経営指導員等から直接各事業所へフィードバックされており、また、商品・サービスの見直しや新たな商品開発につながったことは評価できる。

【委員2】計画通り実施している

【委員3】計画通り実施されていた。①は支援事業者3社でアンケートを実施し、経営指導員からフィードバックも実施されており効果的な取り組みである。②東京国際フォーラムで開催された青森市企業立地セミナーに参加された方に対し、アンケートを実施し、結果を事業者に対しフィードバックしており評価出来る。

【委員 4】 支援事業者等に対する有効な調査となり、新たな需要開拓につながっている。

3. 経営状況の分析に関すること

- ①「講習会等の開催」による小規模事業者の掘り起しと経営分析
- ②「窓口相談」、「巡回相談」による小規模事業者の掘り起こしと経営分析
- ③「金融相談会・金融支援」による小規模事業者の掘り起しと経営分析
- ④「AOMORI STARTUP CENTER」等を活用して創業した小規模事業者の掘り起こしと経営分析

(令和4年度)

A	B	C	D
	3	1	

(参考 令和3年度)

A	B	C	D
2	2		

【評価内容】

【委員 1】 ①及び②は目標を上回っているが、③は目標の4割、④は目標をほとんど達成することができなかったことから、目標達成に向け、直実に実施していただきたい。

【委員 2】 窓口相談、巡回相談における分析件数は増加しているが、金融相談会・金融支援における経営分析件数は目標に達していない。

【委員 3】 ①「講習会の開催」については、DX、IT、補助金とニーズの高い講習を開催し、いずれもほぼ経営分析まで繋がっており効果的な取り組みであるといえる。②窓口相談、巡回相談については目標の倍以上の件数を達成しており、非常に成果が出ている。今後も目標件数に限らず支援を継続していただきたい。③金融相談会・金融支援、はマル経融資の経営分析件数でありコロナが落ち着いてからは目標に達しない見込みとの説明があり、やむを得ないものとする。④については、市の事業であるがもう少し連携の機会があってもよいのでは。

【委員 4】 新型コロナ感染症の影響や原材料価格高騰など困難な経営課題が発生する中で、経営分析による経営改善手法を推進した。また、DX人材育成など新たな取り組みにも着手した。

4. 事業計画策定支援に関すること

- ①「講習会等の開催」による小規模事業者の掘り起しと事業計画策定
- ②巡回・窓口相談による事業計画策定
- ③創業・第二創業計画策定支援
- ④事業承継計画策定支援

(令和4年度)

A	B	C	D
2	2		

(参考 令和3年度)

A	B	C	D
3	1		

【評価内容】

- 【委員1】** 事業計画策定件数が、目標の71件に対して約2.4倍の168件と大幅に上回ったことは評価できる。特に、創業・第二創業計画策定の件数が、目標の3.6倍の101件となったことから、今後は、創業後の経営支援にも取り組んでいただきたい。
- 【委員2】** 事業計画策定支援件数は予定を上回っているが、事業承継計画策定件数がゼロ。
- 【委員3】** ④事業承継計画策定件数のみ目標を達成していないが、その他の項目については計画を大幅に達成している項目も多く、②巡回・窓口相談による事業計画策定については、補助金計画や各種計画の策定支援について大きな成果が出ており、③創業・第二創業計画策定については、「AOMORI STARTUP CENTER」での創業実績が成果として出ている。
- 【委員4】** 創業企業件数に画期的な実績をあげるとともに、事業計画策定支援を着実に進めた。

5. 事業計画策定後の実施支援に関すること

(令和4年度)

A	B	C	D
1	3		

(参考 令和3年度)

A	B	C	D
1	3		

【評価内容等】

- 【委員1】** コロナ禍の状況の中、売上増加事業者数や売上総利益率3%以上増加の事業者数が、目標を概ね達成されていることは評価できる。引き続き、事業者に対する支援に取り組んでいただきたい。
- 【委員2】** フォローアップ対策を強化した点については、かなり評価できる。
- 【委員3】** ①事業計画のフォローアップ事業者数については計画を大幅に上回る成果が出ている。創業件数の増加と共にフォローアップは非常に重要になってくる取り組みであるため、よろず支援拠点を始め他機関と連携を図りながら可能な限り多くの事業者のフォローアップをしていただきたい。②補助金申請書対象者では目標に達していないがフォローアップは着実に実行されていた。売上増加・利益率3%増加事業者数も目標値に達していないが、26者が売上増、27社の利益率が増加していることは十分な成果と評価出来る。
- 【委員4】** 全体的なフォローアップ件数は前年度を大幅に上回ったが、創業者のフォローアップにさらに注力することが課題である。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

- ①域外への販路拡大を目的とした展示商談会への出展 (B to B)
- ②食品を販売する事業者等を対象にした催事及び展示販売会への出店支援の実施 (B to C)
- ③「地域間ビジネスマッチングのオンラインモデル事業」による販路開拓 (B to B)
- ④IT を活用した販路開拓支援の実施 (B to C)

(令和4年度)

A	B	C	D
1	3		

(参考 令和3年度)

A	B	C	D
1	3		

【評価内容等】

【委員 1】 コロナ禍の状況の中、新たに成約件数が 2 件あったことは評価できる。今後も、新たな需要の開拓に向け、引き続き取り組んでいただきたい。

【委員 2】 事業は計画的に遂行されているが、域外への販路拡大について成約件数が、昨年に引き続きゼロであり、マーケティング視点を加える等工夫が必要。

【委員 3】 ①出展者数はクリアしているが成約には至らなかったが商談継続中とあり、成約に繋がることを期待したい。②AOMORI STARTUP CENTER 内での販売は昨年度に引き続き、十分な成果が出ていた。③出展者数はクリアし、かつ成約にも繋がっており十分な成果が出ている。④セミナー、個別相談の実施により売上増になった事業者が 1 社あり成果が出ていた。※全ての取り組みは達成されていたが、①、④において目標を下回ったため B 評価とした。

【委員 4】 「AOMORI STARTUP CENTER」の創業予定者の活用は課題であったが、トライアルを含め販路開拓支援は効果的であった。

7. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

(令和4年度)

A	B	C	D
1	3		

(参考 令和3年度)

A	B	C	D
2	1	1	

【評価内容等】

【委員 1】 現状の取組状況などを確認したいため、中間報告の機会を設けていただきたい。

【委員 2】 コロナ禍後の事業について見直しが必要。

【委員 3】 事業評価委員会を確実に開催し、評価・検証を実施し、結果を公表しており、着実に取り組みは実施されている。

【委員 4】 当該計画の K P I 達成のため活発な議論がなされ、これを踏まえ今後の施策や取り組みに反映して欲しい。

8. 経営指導員等の資質向上等に関すること

- ①「経営指導員等情報交換会」の開催
- ②組織内での支援ノウハウの共有

(令和4年度)

A	B	C	D
2	2		

(参考 令和3年度)

A	B	C	D
4			

【評価内容等】

【委員 1】 経営指導員等情報交換会及び組織内での支援ノウハウの共有が計画どおり実施されている。特に、経営指導員等情報交換会の開催にあたっては、対象である若手経営指導員のほかに補助員や一般職員も加えたことは評価できる。引き続き、経営指導員等の資質向上に取り組んでいただきたい。

【委員 2】 研修は計画的に行われているが、伴走支援のあり方について再検討が必要。

【委員 3】 経営指導員に加え、一般職員も参加する「経営指導員等情報交換会」を16回開催しており、大変評価出来る。BIZ ミルの情報共有も図られており今後事業者支援へ活用されていくことを期待したい。また、「商圈情報サービス(MieNa)」では持続化補助金の申請に活用可能な基礎データの抽出も可能とのことであり、今後計画書作成に活用することも期待したい。

【委員 4】 経営支援の要となる指導員等の資質向上は、特に重要であり、今後も努力が必要である。

9. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

- ①小規模事業者経営改善貸付事務連絡協議会
- ②その他支援機関との情報交換

(令和4年度)

A	B	C	D
4			

(参考 令和3年度)

A	B	C	D
4			

【評価内容等】

【委員 1】 小規模事業者経営改善貸付事務連絡協議会(2回/年)及びその他支援機関との情報交換の開催が計画通り実施されている。引き続き、支援機関と連携を図ることにより、小規模事業者への積極的な支援に取り組んでいただきたい。

【委員 2】 計画的に行われている。

【委員 3】 ①公庫青森支店との「小規模事業者経営改善貸付事務連絡協議会」の開催、金融相談窓口での対応、②青森県信用保証協会との「青森県中小企業支援ネットワーク会

議」、青森県主催の「地域金融推進協議会」の参加等、各機関との連携は十分に図られている。

【委員 4】日本政策金融公庫をはじめ、金融機関との情報共有や連携協力を着実に実施した。

10. 地域経済の活性化に資する取り組みに関すること

- ①国内外からの誘客推進並びに経済交流推進事業
- ②ヘルスケア・ビジネス創造事業
- ③中心市街地活性化事業
- ④株式会社まちづくり青森との連携
- ⑤青森地域5大学等との連携事業
- ⑥まちなかキャンパスの開催
- ⑦人財育成 雪花雪中塾の開講
- ⑧コロナ禍における商取引支援事業

(令和4年度)

A	B	C	D
4			

(参考 令和3年度)

A	B	C	D
3	1		

【評価内容等】

【委員 1】新型コロナウイルス感染症の影響により各種事業の実施に制約がある中、計画通りの事業を実施しており、本市の地域経済の活性化に大きく貢献している。今後においても、関係機関・支援機関と連携を強化し、地域経済の活性化に取り組んでいただきたい。

【委員 2】事業の目的と事業の成果を追求すべき。

【委員 3】①については、国際線の再開に向けた取り組みや神戸との定期航空路線を活用した交流等今後に繋がるような事業であったと評価出来る。②についても過年度に引き続き実施されていた。③中心市街地活性化事業として、中心地の賑わい創出、商業活性化、事業効果の検証・調査等会議所としてのノウハウ、役割を果たす事業が十分に実施されている。④パサージュ広場のチャレンジショップについて、もう少し各店舗が参加する広場でのイベント的な機会があってもよいのではないかと。⑦人財育成事業の雪花雪中塾では、開催回数、参加人数ともかなり力を入れた事業であることが伺える。具体的な成果が分かればなおよい。⑧コロナ禍における商取引支援事業では、ふんばるアオモリ事業、プレミアム付商品券事業は短期的に消費喚起に直結する事業であったと評価出来る。

【委員 4】コロナ禍からの社会経済活動の回復が顕著になりつつある中で、需要喚起策を行政との連携で推進したことは評価できる。地域経済回復のためさらなる推進が必要である。

【総括的評価内容等】

- 【委員 1】** コロナ禍の状況の中、各事業の実施により、一定の成果があったものと認識している。令和5年度は、市民生活や経済活動など次第にコロナ禍以前の状況に向かっていくものと思われるが、昨今のエネルギーや食料品等物価高騰を受け、中小事業者等にとっては大変厳しい状況に置かれていることから、これまで以上に関係機関・支援機関等と連携を強化し、引き続き各種事業に取り組んでいただきたい。
- 【委員 2】** 会員が、コロナ禍で困窮している状況に伴走し、具体的な成果をあげた事例が欲しい。(1件でも2件でも) 経営発達支援計画における伴走支援のやり方を確立してもらいたい。
- 【委員 3】** 昨年度に引き続き、全体を通して計画、目標に沿った事業が実施されている。今年度については、コロナが5類に移行になったことにより、いよいよ人の動きが活発になり、クルーズ船に加え、国際線も再開される見込みであり、国際的な往来も活発化される。先を見据えた事業を積極的に打ち出していただき、青森市と共に個人事業、法人各社の活性化、市の活性化に繋げ、経済の活性化に繋げていただきたい。
- 【委員 4】** 新型コロナウイルスの影響や原材料価格高騰等による厳しい経済環境の中、国、県、市の支援施策の申請サポートや経営相談など事業継続のための取組みを堅実に進めた。併せて、消費・需要喚起策の積極的な推進により社会活動の活発化にも貢献した。

【改善事項】

- ① マル経融資制度の周知を強化するとともに、マル経利用先へのフォローアップを実施することで、マル経融資の経営分析数の増加を図る。
- ② 事業承継・引継ぎ支援センターと連携し、掘り起こしに加え事業承継計画策定までの支援を実施する。
- ③ 青森市と連携し、AOMORI STARTUP CENTER を活用して起業した事業者に対し、小規模事業者持続化補助金の利用を促すなど販路拡大へ向けた起業後のフォローアップを実施する。
- ④ 展示商談会等への積極的な参加により参加企業数を増加させるとともに、商談成約へ向けた取組みを強化する。

以上